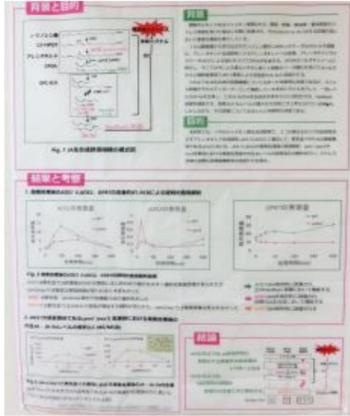


バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	植物化学調節学会 第50回大会
演題名	イネにおけるジャスモン酸生成誘導機構
発表者	○※石戸清貴、宮本皓司、酒澤智子、湯本絵美、柴田恭美、朝比奈雅志、横田孝雄、飯野盛利、岡田憲典、山根久和(植物化学研究室)
内容	<p>ジャスモン酸(JA)は、傷害や病原菌感染などの様々なストレスによって早期に誘導され、それらのストレスに対する防御応答において重要な機能を果たしている。ストレス刺激を受けた植物では、まず少量のJAが誘導され、生成したJAによりJA生合成系がさらに活性化するfeedback 制御が機能していると考えられるが、その詳細はほとんど未解明の状態である。本研究では野生型イネやJA欠損変異体におけるJA生合成遺伝子の傷害処理後の発現解析を行い、JA生合成遺伝子には、傷害応答の初期にJA非依存的に転写誘導される遺伝子群とJA依存的に転写誘導される遺伝子群の二つに分類できることが明らかになった。本研究はバイオサイエンス学科植物化学研究室内の大学院生が修士論文研究の一環として行ったものである。なお、本発表は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」による支援を受けて行った。</p>
関連画像	 <p>発表で用いたポスター</p>